

## 1 基本方針

ア 光ファイバ構成（1芯1波方式）

## イ 伝送方式

(2) 引込用光ドロップケーブル

## 2 伝送路設備設計基準

24芯、40芯、60芯、80芯、100芯、200芯（4テープ／芯）

使用する幹線分岐クロージャは、以下のとおりとする。なお、各クロージャの分岐数は5分岐までとする。

イ ~ 300心

伝送距離 11Km 未満 : 8カプラ、4カプラ、2カプラ

伝送距離 1.1 Km 以上 1.8 Km 未満 : 8 カプラ、4 カプラ、2 カプラ

伝送距離 18Km 以上 20Km 未満 : 4 カプラ、2 カプラ

既設H F C設備のN O D E位置付近に幹線分岐クロージャを配置し、幹線クロージャから分配線設備を敷設する。家屋の配置状況に応じてグルーピングし、伝送路ケーブルの種別選定をする。

原則、引込線は最大200mとする。(集合住宅はこの限りではない。)

### 3 センター設備設計基準

使用するセンターカプラは以下とする。

16カプラ、8カプラ、4カプラ、2カプラ

光送出ユニット1ポートあたり、最大64加入者となるように収容し、伝送路カプ  
ラとの組み合わせにより使用するセンターカプラを選定する。